

TCシンポジウム1999 XML分科会

XMLって本当に「使える」の？

eXtensible Markup Language

本日のポイント

- 「文書の構造」とは、何を意味するのですか？
- SGMLやHTMLではなく、なぜXMLなのですか？
- 本当にXMLはマニュアルに向いているのでしょうか？

eXtensible Markup Language

Q1

**「文書の構造」とは、何を
意味するのですか？**

eXtensible Markup Language

A1

- 見栄えの指定と構造指定は別の問題である
- 意味の指定という要素もある
- 文書には階層構造がある

eXtensible Markup Language

Ex1 見栄えの指定

スタイル設定を見栄え指定のためだけに使用すると...

意味が全く異なるのに同じスタイルを適用する場合が出てくる。



→再利用が困難

Ex2 意味の指定

スタイル設定を意味／階層の指定のために使用すると...

意味や階層ごとに再利用することが可能になる。

→意味と見栄えの分離



Ex3 階層の入れ子構造

大見出し

中見出し1

小見出し

導入文

手順文

中見出し2

<大見出し>

<中見出し1>

<小見出し>

<導入文>

</導入文>

<手順文>

</手順文>

</小見出し>

</中見出し1>

<中見出し2>

Q2

**SGMLやHTMLではなく、
なぜXMLなのですか？**

eXtensible Markup Language

Q2-1

最初からHTMLを利用すれば
良いのではないですか？

eXtensible Markup Language

A2-1

- 対象領域によって適／不適がある

eXtensible Markup Language

Q2-2

データ再利用を重視するなら、
SGMLにすれば良いのでは
ないですか？

eXtensible Markup Language

A2-2

- SGMLとXML、できることはほぼ同じ。

eXtensible Markup Language

Q3

**本当にXMLはマニュアルに
向いているのでしょうか？**

eXtensible Markup Language

Q3-1

紙マニュアルとXMLの
相性はどうでしょう？

eXtensible Markup Language

A3-1

- ad hocな対応が要求される文書には向いていない
- 要素の出現順序が定型のものは向いている
- データベース資産として考慮するならば、XML化も検討の余地がある

Q3-2

電子マニュアルとXMLの
相性はどうでしょう？

eXtensible Markup Language

A3-2

- ユーザー要求に応じ、見せかたを動的に変更できる余地が出てくる
- クロスプラットフォームを対象とした電子マニュアル制作が変わる可能性もある

eXtensible Markup Language

結論

- 対象領域の性質を十分に考慮した上で、XML化を検討すべき

eXtensible Markup Language